

1 概況

冷蔵網は1～6回目の摘採をしています。秋芽網は概ね撤去され、知多南部の2地区で生産されるだけとなりました。水温は平年より若干高く推移しています。潮位はほぼ予測どおりです。植物プランクトンは全域で少なく、色も回復傾向にあり、伸び足もついて来ましたが、西三河中部を除き栄養塩は減少しました。しかし、昨日まとまった降雨があったため、栄養塩の回復が期待されます。一部地区であかぐされ病が散見されており、現在のところ拡大には至っていませんが、今後水温の上昇に伴い拡大が懸念されます。漁期末までしっかり摘めるように早期摘採と適切な網管理を心がけてください。

2 気象・海況

<水温> 2月28日			<水温> 3月1日			<潮位> 2月28日		
1～3号 ブイ平均 (-3.5m)	日平均水温	8.1 °C	漁生研 (-3.0m)	10時水温	10.8 °C	名古屋港 (TDL)	平均	132 cm
	平年差	+0.6 °C		平年差	+0.6 °C		偏差	+7 cm

<栄養塩・赤潮> (各のり研究会調査)

地区	栄養塩	赤潮	特記事項
知多西部地区	やや多い～少ない	なし	植物プランクトンは少ない。
知多東部地区	欠測	欠測	欠測
西三河地区	中部:多い、東部・西部:少ない	なし	植物プランクトンはほとんどいない。
東三河地区	本年度の調査終了		

※基準(単位: $\mu\text{g/L}$) 多い:121～、やや多い:81～120、やや少ない:41～80、少ない:～40

<気温動向の予測> (気象庁予報より)

今後1週間	最高気温と最低気温はともに、平年より高い日が多いでしょう。
-------	-------------------------------

3 クロノリ養殖状況

地区	摘採回数	1網当たりの生産枚数	製品	食害	病被害 その他
知多西部地区	冷蔵:1～6回 秋芽:情報なし	冷蔵:400～1,000枚 秋芽:1,200～1,500枚	色、伸び回復	カモ	一部地区であかぐされ病散見
知多東部地区	秋芽:生産再開	—	—	—	師崎地区以外生産終了
西三河地区	冷蔵:5～6回	400～1,000枚	多くの地区で色調回復 一部地区で色浅め	なし	あかぐされ病散見されるが拡大していない
東三河地区	—	—	—	—	全地区生産終了

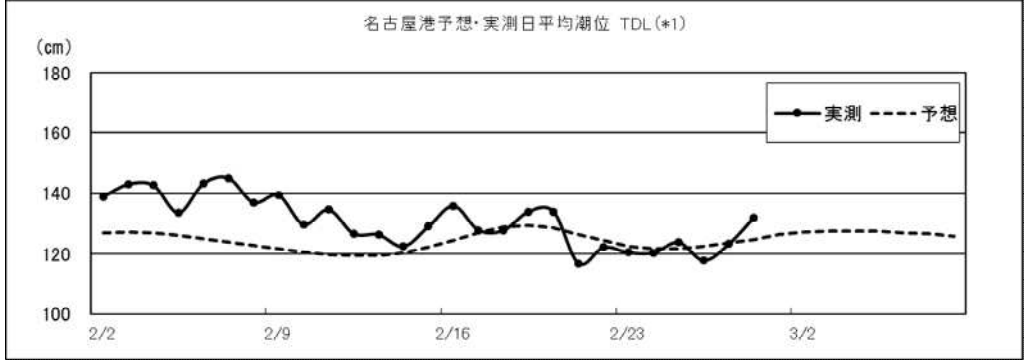
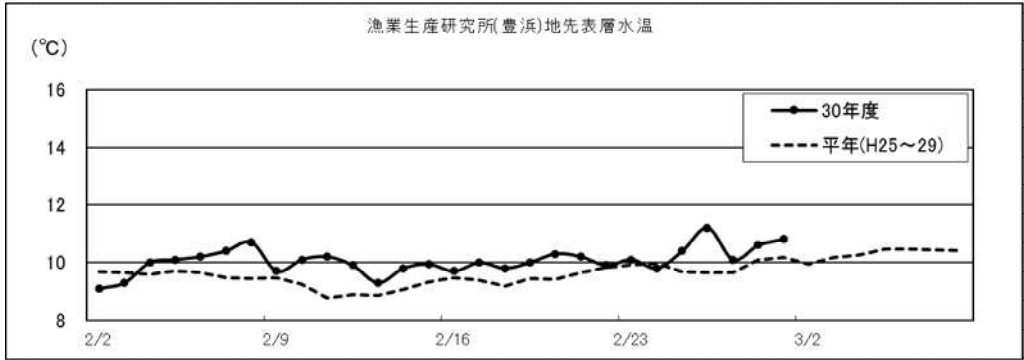
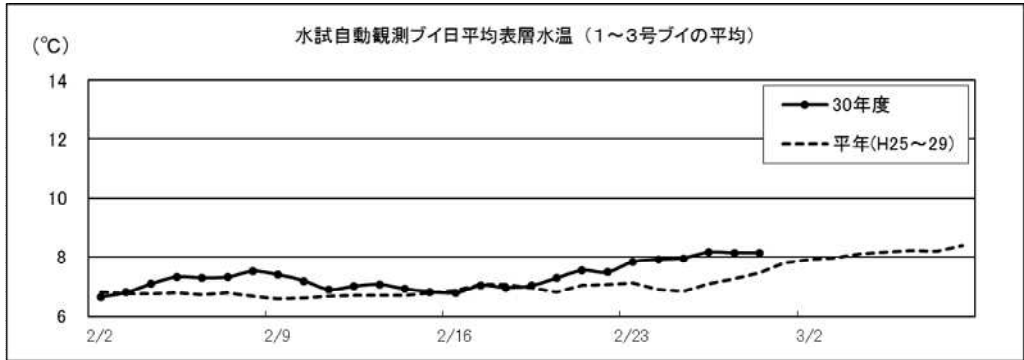
4 今後の管理

- ① 栄養塩の少ない漁場では、早期摘採により色落ちの軽減・防止に努めること。
- ② 製品の選別及び異物の検査を厳正に行うとともに、衛生管理に努めること。
- ③ 次年度の品種選定は、地先での養殖成績を参考に、早生と晩生を混合して使用すること。

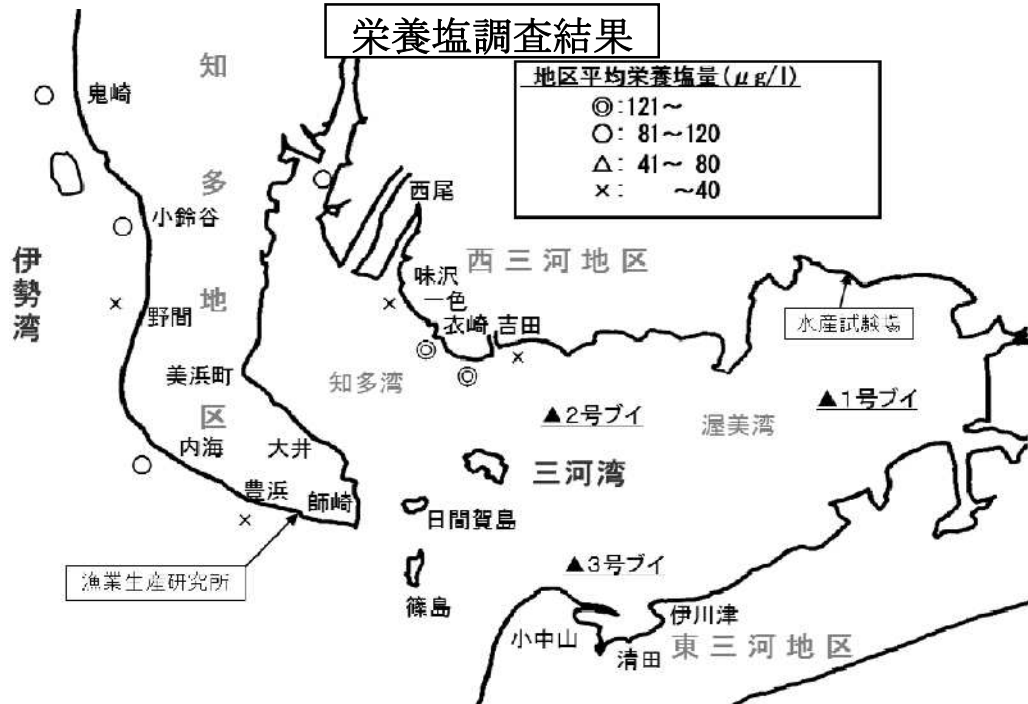
水産試験場が提供する「のり養殖情報」、「赤潮情報」及び「自動観測ブイ情報」は、インターネット上で閲覧することが出来ます。水産試験場ウェブページのトップページから移動できます。アドレス: <http://www.pref.aichi.jp/suisanshiken/>

内容に関する問い合わせ、ご意見は、愛知県水産試験場 企画普及グループ(TEL 0533-68-5198)へ平成30年度の「のり養殖情報」は今回で終了となります。

伊勢湾・三河湾海況データ



*1 名古屋港潮位表基準面からの高さ。名古屋港潮位表基準面は、NP(名古屋港基準面)より4.3cm高い基準面。



栄養塩調査日：知多、西三河：2月28日（木）
調査機関：知多のり研究会、西三のり研究会